

件名	<b>&lt;第1回 蒲田都市づくり推進会議 議事概要&gt;</b>	
日時	平成24年7月30日(木) 午後2時から4時	場所: 大田区役所本庁舎11F 第五・第六委員会室
出席者	委員23名出席(うち2名代理)、オブザーバー1名出席、傍聴者30名	
配布資料	蒲田都市づくり推進会議設置要綱、第1回蒲田都市づくり推進会議資料、H23年度蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会蒲田駅周辺整備計画(たたき台)ポイント	

(以下、敬称略)

#### ◆開会・挨拶・資料説明

- ・野田副区長より開会挨拶
- ・大田区事務局より、蒲田都市づくり推進会議設置要綱(資料1)について説明

#### ◆出席者紹介

- ・構成員、自己紹介

#### ◆座長、副座長選出

- ・推進会議構成員の互選により、東京工業大学・中井教授を座長と決定。座長からの指名により、東京工業大学・屋井教授が副座長に決定。

中井座長が議長として、議事進行

○議事

#### ◆資料説明

- ・事務局より、蒲田都市づくり推進会議の検討スケジュール(資料2)について説明

#### 1) 蒲田都市づくり推進会議の検討スケジュールについて

座長)

- ・H24年度以降、蒲田都市づくり推進会議は、いつまで継続するのでしょうか。

⇒大田区)

- ・蒲田都市づくり推進会議は、蒲田駅周辺整備計画策定を目的としておりますので、H24～H25年度の2年間を想定しております。

座長)

- ・川崎駅の例を出しますと、同じような協議会を立ち上げて整備計画を作成し、その後も、定例的に協議会を開催して事業進捗について意見交換の場を作りました。蒲田でも同じように、推進会議を継続するようにご検討ください。

⇒大田区)

- ・今後、検討してまいります。

#### ◆資料説明

- ・事務局より、平成23年度蒲田駅周辺整備計画策定調査研究会蒲田駅周辺整備計画(たたき台)ポイント(資料3)、蒲田駅周辺地区整備目標・整備方針、初動期の交通基盤施設計画(駅前広場の検討)、(自転車駐車場の検討)(資料2)について説明。

#### ◆意見交換

【以下、主な意見交換内容】

#### 2) 初動期の交通基盤施設計画について

## 座長)

- ・私から簡単に再整理させて頂くと、まず資料3 蒲田駅周辺整備計画(たたき台)はH23年度に研究会で議論した内容をまとめたもので、この推進会議で、今年度と来年度に議論して頂く蒲田駅周辺整備計画のたたき台にあたるものです。

今日の議論のポイントの1つ目は、蒲田駅周辺の地区の将来像と整備目標を少し見直してはどうかということです(資料2のP11.12)。2つ目は、初動期(概ね5年)の取り組みで、駅前広場と自転車駐車場について整備を進めて行く計画です。東口駅前広場は、南側に少し拡張して、バス、歩行者、タクシー、一般車の流れについて再整備する案が何パターンか提案されています。西口駅前広場は、広場南側の段差解消、広場北側と交通島の改善案が提案されています。自転車駐車場は、東口駅前広場地下に2000台規模の大規模自転車駐車場を整備する案と、西口に、民間と協力して小規模分散型の自転車駐車場を整備する案が提案されています。

それでは、今の論点や、若しくは、中長期的にこのようなことをやってもらいたいとか、今日は一回目でするので、自由に皆様からご意見頂ければと思います

## 委員)

- ・東口、西口で協力して、大田区と蒲田警察と一緒に、夜9時から街のパトロールを行っています。西口の放置自転車は、駅前広場の自転車整備員がいるエリアでは少ないですが、周辺に拡散していて、特に夜9時頃は、緊急車両も通れない程です。西蒲田公園の地下自転車駐車場は駅から離れていて、使い勝手が悪いので、是非、西口にも東口と同じように駅の近くに大型自転車駐車場を計画してください。何年も前の話ですが、自転車対策協議会で、JR線路脇の現在カラオケボックスのある場所に、5000台規模の自転車駐車場の設置をお願いしたことがあります。是非、実現してください。
- ・安心安全のまちのため、交番は目立たない駅ビルの一部ではなく、数寄屋橋の交番のように西口の駅前広場の目立つ場所に設置していただきたいと考えています。

## ⇒大田区)

- ・蒲田駅東西口周辺では、客引き対策としての夜間のパトロールを、昨年の12月から実施していますが、夜の自転車の状況は非常に問題意識を持っています。この推進会議と同時に、屋井副座長が会長の自転車等駐車対策協議会でも、配置計画も含め、幅広く検討している状況です。今日、お示ししたのは、あくまでもたたき台ですので、西口駅前広場につきまして、皆様から広くご意見をいただきたいと考えております。交番も警察との協議の場で、話題にしたいと考えておりますし、JR線路沿いの用地につきましても、駅開発検討部会等で、話題にしたいと考えております。

## 委員)

- ・西口の場合は、放置自転車が分散していますので、大規模自転車駐車場を作って放置自転車が減らせるのか疑問に思います。分散型も茶筒状の機械式自転車駐車場が有効だと思うので、大規模地下自転車駐車場を計画することと並行して検討して欲しいと思います。もし、東口駅前地下に自転車駐車場を作るのであれば、東西両方で使える事が一番大事だと考えます。蒲田駅全体で東西の行き来を考えるべきだと思いますが、自転車、ロータリーの改善策についても、その視点が入っていないように思います。また、駅前広場の整備計画は、スカイデッキや地下のような立体的な方法も一度検討すべきだと思いますし、景観も大事な話なので、駅前広場機能と連携して検討してください。

## 委員)

- ・地下自転車駐車場は、地下に降りないで、地上でカード形式の入出庫だと女性も不便を感じないで停めるようになると思います。できれば邪魔にならない場所に地上での出入り口を検討してください。

## 委員)

- ・自転車の問題は、羽田・糎谷方面に住む人が自転車で東口から西口へ行くには、東口で自転車駐車場に停めて連絡通路を歩いて行くか、環八か呑川まで大きく迂回しなければ行けません。東西の行き来の不便さが、自転車駐車場も放置自転車も増える原因の1つではないかと考えています。自転車が行き来できるような、東西自由通路を早急に考えなければいけないと思います。

#### 委員)

- ・西口の駅前広場は、夕方5時までは、区の自転車整理員がいるので放置自転車は少ないですが、道1本奥に入るとすごい数の放置自転車です。また、治安上も、交番の位置を再検討したほうがいいと思います。

#### 委員)

- ・東口の商店街では、毎週2回、午後3時からポプラードを中心に役員で自転車の整理（斜め置き）を行っています。日中は比較的きれいに並んでいますが、夕方6時を過ぎると、様相が一転します。放置自転車問題がなかなか解決出来ないのは、使って頂く方のモラルの問題もあると思います。東口駅前中心に、押し歩きゾーンを設けるという案が出ていますが、長い時間かけて周知徹底を行わないと実効性がないのではと蒲田警察署の交通担当の方とも話しています。
- ・近未来には立派な駅前広場が出来るのかと期待をしていますが、1度作ったら、50年ぐらいは変わらないイメージがありますので、時代に合せたまちの方向性（生活のパターン、自転車、車利用）をよく見据えて、活気があるまちを目指して、駅前を生まれ変わらせてください。

#### 委員)

- ・昭和60年に蒲田東口地区まちづくり協議会が設立されてから、自転車問題は永遠のテーマです。協議会では、蒲田東口に特化した放置自転車対策を2年間研究して、「自転車かまたルール」をまとめています。蒲田駅東口地下に大規模な自転車駐輪場が出来れば、ある程度、解決に近づくとと思いますが、放置自転車対策は直近の課題ですので、駅前広場と自転車駐車場の整備時期のバランスを取って進めてください。この計画が5年以内に着手する事を期待しています。

#### 委員)

- ・西口は地下がないので、駅前広場の整備は早く話が進むように思います。東口、西口を一緒に整備する事は難しいと思いますが、H26年度に着工するという話なので頑張って欲しいです。

#### 委員)

- ・次回の都市・環境委員会で今日の結果を報告し、十分に検討したいと思っています。私の住んでいる久が原駅前にも新しい自転車駐輪場ができましたが、駅前の放置自転車の数は、減っていない状況です。お住まいになっている皆様と、自転車利用者の意識をどう高めて、まちの景観を整えていくかが大事だと思います。

#### 委員)

- ・東京都は、都市計画道路の計画等を大田区から相談を受けているという立場です。蒲田の駅前広場は、戦災復興の区画整理で整備されていますので、当時とは交通の状況も大きく変わっていて、歩行者数が増加し、自転車対策も大きな課題です。少ないスペースを有効利用して、自転車駐輪場を作り、歩行者空間を多く取るということで、駅前広場の下に自転車駐輪場を設け、バス停を交通広場に集約する案を検討していますが、車の流れなどの交通流をどう処理するか、また、自転車駐輪場出入口、歩行者空間をどう広げるか、知恵を絞る必要があります。皆様から頂いた意見を参考に、引き続き一緒に検討して行きたいと考えております。

#### 委員)

- ・夕方5時半までは区で整備員を出して整備していますが、それ以降は自転車が雑然と並び、自転車放置禁止区域の境界部分に違法駐輪が多いことも認識しております。今後も、撤去、啓発、整理を精一杯やらせて頂きますが、まだまだ足りない部分もあると思いますので、課題として考えていきます。

#### 委員)

- ・資料2のP.11で将来像の再整理を挙げていますが、従来までは、バス停の集約、タクシー待機場確保等の交通結節拠点に重点を置いて将来像を描いてきましたが、現状では空間が狭く、全部を集約することが困難なので、人が主役で、人が集まり賑わって快適性を感じられる歩行者空間に重点を置いて、将来像に「快適性」という言葉を入れました。また蒲田の良さは、良い意味での雑然性、おもちゃ箱のような賑わいがあることなので、「更なる活力を生み出す」という表現も入れました。皆様のご理解を得られれば今後このような方向で考えていきたいので、ご意見を頂ければと思っています。

#### 委員)

- ・自転車駐輪場は、作るだけでなく、いろんな手法を組み合わせなければいけないと考えています。大森駅

前のLuz大森に地下に自転車駐車場がありますが、料金が3時間無料のため、買物客の方に多く使われています。平日は自転車指導員を配置し、休日は周辺の放置自転車撤去を行うことにより、自転車駐車場の利用促進を行いました。駅前広場等の押し歩き運動も考えていく必要があります。まちづくり推進部だけでなく自転車を実際に撤去する都市基盤担当部署とも連携しながら進めていきたいと考えています。

#### 委員)

- ・初動期の取り組みは、5年、中長期の取り組みは、概ね5年から20年とご説明しましたが、できることから実行していきたいと考えていますので、皆様のご協力をお願いします。

#### 委員)

- ・羽田空港は、平成23年度年間利用者が6200万人、そのうち国際線利用者が700万人で、世界でも利用客が5番目に多い空港です。空港のポテンシャルを蒲田のまちづくりに生かしていくことと、バス・鉄道の交通結節機能として利便性を高めることが必要だと考えています。本日皆さんから頂いた自転車駐車場の問題、東西通路の問題も合わせて、行政内部で連携して取り組んでいきますので、よろしく願いいたします。

#### 副座長)

- ・蒲田の放置自転車問題は30年来やってきて、自転車等駐車対策協議会でも駐輪対策、走行空間の問題、ルール・マナー等の問題について話し合っています。短期に解決する問題だとは思いませんが、放置自転車が多いからといって地下自転車駐車場を一方的に作るよりは、公共のバス交通を残すこと、店舗、オフィスでの利用に応じた民間事業者整備負担をさせること、夜間の放置対策として飲酒運転の取締りを徹底させるとか、別の見方の対策も必要だと思います。
- ・将来像、整備目標の再整理の提案ですが、大きな事柄であるので、もっと議論が必要だと思います。元から多文化都市であった蒲田が、国際化によって外部からの活力が流入して、さらに活気が高まる事を前提にしていたが、それが今回の案だと全部消えて、蒲田の個性というよりは生活者の視点に密着したにぎわいになっています。従前の案を残さない方向転換ならば、引き続き議論が必要だと思います。
- ・また歩行者空間や回遊性については重要と考えますが、そのような考え方にウエイトを置くのならば、自転車も歩行者の安全を確保するために、自転車の通行空間、走行空間をどう考えるのかも、この再整理案に位置づけたほうが良いと思います。

#### 座長)

- ・蒲田駅周辺地区グランドデザインの広い区域と、蒲田駅周辺整備計画の駅周辺の範囲が、いまひとつ明確でなかったのが、将来像や整備目標、駅前広場や自転車駐車場の議論の中で、街並みや緑の話も完全に切り離すのではなくて、出来る限り駅周辺とも有機的に関係しているという意識でやって頂きたいと思います。
- ・2点目は、東口駅前広場は、極端に言う必要面積の半分しかないですが、長期的に駅前広場を1.5倍ぐらいにはしたいとか、そのためには、初動期ではここまで整備して、足りない部分は、将来周辺街区が更新する時に、少しずつ協力していただきながら拡張していきましょうとか、中長期の中で初動期がどのように位置づけられるかの議論が必要です。大岡山でも広場に交番を作るか議論がありましたが、初動期は駅ビルの中で、視認性が良いところに落ち着きました。長期の話は横に置いておかないで、きちんと頭の中に入れて、計画を立てないと、良い計画はできないと思います。また、東口と西口の整備は、交通処理上、交互にしか出来ないの、どういう順番で整備していくか議論が必要です。
- ・また、回遊性の話は、初動期では自由通路の話が出ていませんが、重要度が高いので、歩行者も自転車も工夫が必要です。
- ・今後、2年間で案を計画として確定させるということですが、立派な計画を作っても動かなければ意味がありませんので、動かせるものは、計画の中に入れていきたいと思っています。個別に、委員の皆さんと意見交換を密に行ってください。

#### ◆その他

- ・次回日程

第2回蒲田都市づくり推進会議：

平成24年11月6日(火) 午前10:00~12:00

大田区役所本庁舎202、203会議室

## 平成 24 年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

## ◆学識経験者

## 委 員

東京工業大学大学院 社会理工学研究科教授	中井 検裕 (座長)
東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授	屋井 鉄雄 (副座長)

## ◆地元関係者

## 委 員

蒲田東地区自治会連合会	小山 君子
蒲田西地区自治会連合会	小谷野 正義
蒲田東口商店街商業協同組合	田中 彰一
蒲田西口商店街振興組合	片山 薫榮
蒲田東口地区まちづくり協議会	藤田 静男
蒲田大好き委員会	望月 清志
蒲田再開発推進委員会	田中 常雅
特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇

## ◆大田区議会議員

## 委 員

都市・環境委員会 委員長	飯田 茂 (欠席)
都市・環境委員会 副委員長	鈴木 隆之

## ◆東京都

## 委 員

## 担当

都市整備局都市基盤部 街路計画課長	朝山 勉 (欠席)	大野 誠 (代理出席) (区部街路計画係長)	後藤 裕之 (区部街路計画係主任)
都市整備局都市基盤部 交通企画課長	花井 徹夫 (欠席)	山本 健一 (欠席) (交通施設担当係長)	笠原 晋介 (代理出席) (交通施設担当係主任)

## ◆大田区

## 委 員

## 担当

まちづくり推進部長	太田 誠一		
まちづくり推進部 再開発担当部長	杉村 克之		
まちづくり推進部参事(企画調整担当) ( 経営管理部空港担当部長 (まちづくり政策・調整担当部長兼務) )	川野 正博		
まちづくり推進部 まちづくり管理課長	荒井 昭二	大橋 英一 (まちづくり企画担当係長)	保下 誠 (まちづくり企画担当係長)
まちづくり推進部 交通企画担当課長	吉田 春彦	鈴木 誠 (まちづくり企画担当係長)	
まちづくり推進部都市開発課長 (蒲田再開発担当課長兼務)	齋藤 浩一	大貫 恵二 (地域整備担当係長)	菊地 裕之 (地域整備担当係長)
まちづくり推進部 蒲田再開発担当副参事	近藤 純司		
まちづくり推進部 防災まちづくり担当課長	落合 邦男	倉 一郎 (防災まちづくり担当係長)	
都市基盤整備部都市基盤施設担当部長 (都市基盤管理課長事務取扱)	根本 敦	藤澤 康文 (計画調整担当係長)	中村 満 (地域交通対策担当係長)
都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長	高橋 義博	貝塚 悟 (自転車対策担当係長)	
連続立体事業本部 連続立体事業再開発担当課長	岡田 誠 (欠席)	仁部 弘 (連続立体再開発担当係長)	

## ◆国土交通省

## オブザーバー

都市局街路交通施設課	荒川 辰雄(欠席) (街路事業調整官)	東 智徳 (企画専門官)
------------	------------------------	-----------------

※第 1 回推進会議の欠席者については氏名の後に (欠席) を記載